

平成 28 年度

練馬区立石神井西中学校区

小中一貫教育研究グループの取り組み

石神井西中学校区では、平成 27・28 年度、練馬区教育委員会の指定を受け、小中一貫教育の研究に取り組みました。これまでの取り組みの様子を紹介いたします。

石神井西中学校

関町小学校



石神井西小学校

立野小学校

校区別協議会

第1回 平成28年 6月24日
第2回 平成28年11月17日

今年度は、第1回校区別協議会を石神井西小学校で、第2回校区別協議会を石神井西中学校で行いました。第1回校区別協議会では、各教科等の課題改善に向けて、検証授業及び公開授業を実施しました。授業後には、協議と課題改善カリキュラムについて話し合いました。第2回校区別協議会では、研究成果と課題をまとめ、ねりま小中一貫教育フォーラム（1月20日実施）に向けて準備するとともに、来年度の実践校としての取組について共通理解を図りました。



5年生 社会科の検証授業



検証授業後の協議会

(注) 課題改善カリキュラム・・・児童・生徒の課題を改善するための指導計画

出前授業

立野小学校 平成28年 6月23日
石神井西小学校 平成28年11月21日
関町小学校 平成29年 2月24日

中学校の教員が石神井西中学校区の3小学校へ行き、小学校5、6年生を対象に国語、社会、算数、理科、外国語（英語）の授業を行いました。中1ギャップの段差を少しでも軽減するため、中学校の教科内容を小学生向けにアレンジして授業を行いました。授業後のアンケート結果から、「中学校の授業について行けるか。」という不安を抱えている様子が見受けられましたが、この出前授業を通してその不安も少し取り除けていたようでした。



6年生 理科の出前授業



道徳・心の教育部会

「自律した子」の育成を課題とし、重点を置いた価値項目の系統化や系統を踏まえた授業実践を行いました。今年度は、さらに価値項目をA「善悪の判断、自律、自由と責任」に絞り、4校の指導計画を基にして、「自律した子」を目指すための系統的な指導計画を作成しました。

今後は実践を積み上げていくことで、指導計画を検証および改善し、小中9年間を一貫した「自律した子」を目指すことができるようにしていきます。



小学校 1年生 道徳の検証授業

健康・体力向上部会

「平成26・27年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果およびその他の児童・生徒の実態から、各小学校と中学校の共通した課題として、「投力」と「泳力」が挙げられました。そこでまず、各校の実態に応じた取組を行うことで「投力」の改善を図りました（バトン投げ、ロケットタイプの教具の活用、「ボール投げ」遊び、フリスビー様の教具を用いたアルティメット型ゲームなど）。また、「泳力」の改善のために、中学校教員による小学校での乗り入れ授業を行いました。



バトン投げ ロケットタイプの教具 「ボール投げ」遊び アルティメット型ゲーム 中学校教員による乗り入れ指導

生活指導部会

本部会は、平成27年度の研究で系統的な到達目標を作成しました。今年度は、各校で挨拶・思いやり・主体性の3つの観点に注視して実践授業を行い、子供たちの実態に合わせた内容の改善に取り組みました。また、小中学校の生活の流れや学用品の扱い方に、大きな差が生じていないかを確認し、調整を行いました。その解決に向け、今後は、各校で到達目標を目指した実践を教育計画に組み入れ、児童・生徒の生活面と学習面の9年間を系統的に見据えた実践に取り組んでいきます。



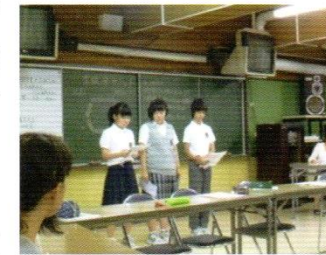
あいさつの木運動



4年生 算数の検証授業

児童・生徒交流部会

平成27年度には「いじめ防止について」、平成28年度には「SNSについて」をテーマに児童・生徒会サミットを開催しました。サミットでは学校で行ったアンケートを基に各校が発表し、その後児童と生徒が意見交換を行い、小学生が中学生に積極的に質問する姿も見られました。このような活動を通して小学生の中学校に対する不安の軽減を図り、前向きに中学校生活をスタートできるようにしたいと思っています。また、児童と生徒がそれぞれの学校を歩き来して、朝のあいさつ運動を行いました。



児童・生徒会サミット



あいさつ運動

キャリア教育部会

本部会では、キャリア教育を各学校がどの領域のどの単元で実施しているか共通理解した上で、小中9年間を見通した共通の取組を実施したいと考え、最初に実施一覧表を作成しました。次に、それぞれの取組の意義やねらいについて比較分析をしました。その結果、各学校の取組では「職業について知る」「自分の成長を振り返る」の2点が共通していることが分かりました。

次年度からその2点について、児童が小学校で学び、考えた内容を中学校へ引き継ぎ、系統的なキャリア教育の実現につなげていきたいと考えています。その方策の一つとして、小学6年生から中学3年生までの4年間共通したキャリア教育記録表を作成することとしました。今後、石神井西中への新入生は、この記録表をもって入学することになります。



石神井消防署での職場体験

算数・数学部会

本部会では、「小学校から中学校へ、スムーズに接続するための指導の工夫」をテーマとし、小学校は中学校を、中学校は小学校を意識し、児童が進学した際に大きな戸惑いがないよう円滑な接続を目指して研究を行いました。

平成27・28年度は、中学1年生の多くがつまづく単元として「文字の式」「方程式」が挙げられたことから、主に「数量関係」の領域において検証授業を行い、指導案検討や授業参観などを行いました。

算数・数学の学習は系統性をもち、段階を追ってつながっているため、今後も見通しをもった学習指導を行っていきたいと考えています。



4年生 算数の検証授業

外国語活動・英語部会

平成 27 年度、児童・生徒の実態調査を行い、英語が分からないという思いから活動に積極的になれない児童、生徒がいることが分かりました。そこで研究主題を「より積極的に自信をもってコミュニケーションを図る児童・生徒の育成」として研究を進めることにしました。「スモールステップで展開させる授業、活動に必然性をもたせた授業、発達段階に応じたアクティビティーを取り入れた授業にすれば、児童・生徒が積極的にコミュニケーションを図れるようになるだろう」という仮説の下、小中学校で授業を実践し、参観し合いました。今後も小中学校の連携を密にした系統性のある指導を通して、児童、生徒の活動をつくっていく必要があると考えています。



5年生 外国語活動の検証授業
「What do you like?」

理科部会

平成 28 年度も 27 年度に引き続き、中学校 3 年生の生徒が実験レポートを作成できる力の育成を目指して、表現力を重視した学習過程の系統化、学習ワークシートの共通フォーマット化を行いました。成果として児童・生徒の実態が反映された課題改善カリキュラムを作成することができたこととともに、学習ワークシートの共通フォーマット化により、児童・生徒の発達段階に応じた学びの系統化を図ることができました。今後は課題改善カリキュラムを実施することにより効果を見極める必要があると考えています。



5年生 理科の検証授業

成果と課題

成果

- ・児童・生徒の様子や指導方法についての情報交換を通して、小中学校の教員間の相互理解が深まりました。
- ・研究授業を通して、9年間の学習内容の見直しを再確認することができました。また、見直しをもつことにより、授業内容をさらに精選し、より進展性のある授業が可能になることを確認できました。
- ・いじめ防止サミット、あいさつ運動、部活動見学など児童・生徒の交流がより活発になり、それぞれの取組は子供たちにとって貴重な時間になりました。
- ・8つの分科会全てで、9年間を見据えた課題改善カリキュラムなどを作成することができました。

課題

- ・小中学校での生活時間の違い、小学校3校での時間の違いを調整しながら、児童・生徒の交流をさらに図る必要があります。